

鳥 取 県 略 年 表

明治元年～令和6年

鳥取県立公文書館

年代	西暦	月	県内
明治元年	1868	11	隠岐国、鳥取藩の管轄となる (2年2月隠岐県設置)
明治2年	1869	1	池田慶徳、版籍奉還の上表
		6	池田慶徳、鳥取藩知事となる
明治4年	1871	7	廃藩置県 鳥取県設置(因幡、伯耆及び播磨の一部)
		7	池田慶徳、藩知事を辞任
		11	新たに因幡、伯耆をもって鳥取県を置く、権令に河田景与
		12	隠岐国、鳥取県管下に入る
明治5年	1872	1	県下に112の区を設け、戸長、副戸長を任命
		4	鳥取県職制、議事大体条例などを定める
		5	議事所を鳥取の慶安寺に開設
		9	『鳥取県新報』の発刊(県下初の新聞)
		11	関義臣、鳥取・島根両県を合併し邑美県とする案を政府に上申
明治6年	1873	3	小学規則を布告
		5	『米子新聞』の発刊
		6	会見郡血税一揆起こる
		8	民費章程の制定
		10	旧尚徳館内に変則中学校開校
		12	大区・小区制の実施(17大区・112小区)
明治7年	1874	8	県下、地租改正事業に着手
		8	小学校教員伝習所を設置
明治8年	1875	12	久米、八橋両郡に地租改正不服従運動起こる(9年9月まで続く)
明治9年	1876	7	教員伝習所を鳥取師範学校と改称
		8	府県改廃により鳥取県は島根県に併合、鳥取に支庁開設
明治10年	1877	10	最初の島根県会開かれる

年代	西暦	月	国内
明治元年	1868	9	明治と改元
		10	藩治職制を定める
明治2年	1869	1	薩長土肥4藩主、版籍奉還の上表
		6	諸藩の版籍奉還を許し、藩知事を任命
明治4年	1871	4	戸籍法の制定(区を設け、戸長、副戸長を置く)
		7	廃藩置県の詔書(3府302県)
		11	全国の県を改廃(3府72県)
明治5年	1872	8	学制を頒布
		11	太陽暦採用を布告(5年12月3日を6年1月1日とする)
明治6年	1873	1	徴兵令布告
		7	地租改正条例布告
明治7年	1874	1	民撰議院設立を建白
明治9年	1876	3	廃刀令
		8	金禄公債証書発行条例
		8	全国府県の改廃(3府35県)
明治10年	1877	2	西南戦争(～9月)
		8	第1回内国勸業博覧会

年代	西暦	月	県内
明治11年	1878	2	郵便汽船三菱会社、神戸ー下関ー境ー函館の航路を開く
		4	県下最初の村会開設(会見郡渡村)
		11	鳥取女子師範学校の設置
明治12年	1879	1	大区小区を廃し、郡治区画を定める14郡とされる ※邑美、法美、岩井、高草、気高、八上、八東、智頭、八橋、久米、河村、会見、汗入、日野
		3	鳥取士族森島孝治ら北海道開墾移住を出願
		5	夜見が浜荒蕪地の士族移住開墾事業を認可
		6	鳥取ー松江間に電信線架設
明治13年	1880	3	安藤宜昶、『蠮屈新誌』に鳥取県再置を論ず
		11	郡役所の統廃合 9郡役所→6郡役所
		11	鳥取士族今井鉄太郎ら福島県安積に開拓移住
明治14年	1881	2	共斃社の結成(悔改社を改称)
		5	岡崎平内ら愛護会を結成
		7	参議山県有朋、県再置運動視察のため来鳥
		9	鳥取県再置 県令に山田信道
		9	久米・河村郡立農学校創立
		12	第1回県会議員選挙
明治15年	1882	1	最初の県会が開かれる
		5	久米郡住民が「島根県へ復管轄の哀願」を政府へ提出(八橋・汗入・会見郡でも復轄請願が起こる)
		6	山田県令、鳥取士族の北海道屯田兵移住を上申
		9	富岡製糸工場へ女子20人を派遣
		9	郡立米子中学校を公立とする
明治16年	1883	4	連合戸長役場の設置
		6	『山陰隔日新報』の創刊(後に鳥取新報)
		7	士族授産のため製糸場・製糸伝習場を開設

年代	西暦	月	国内
明治11年	1878	7	三新法(郡区町村編制法、府県会規則、地方税規則)の制定
明治12年	1879	9	学制を廃し、教育令を定める
明治13年	1880	4	集会条例の制定
		11	国会期成同盟第2回大会
明治14年	1881	10	国会開設の詔
		10	松方財政の開始
		10	自由党結成
明治15年	1882	3	立憲改進黨、立憲帝政党結成

年代	西暦	月	県内
		-	鳥取－米子間、鳥取－戸倉間などの主要道路開設事業が進む
明治17年	1884	6	北海道開拓移住の第一陣、鳥取士族36戸、賀露港を出発
明治18年	1885	6	県立倉吉農学校開校式
		7	千代川を中心に東部に水害
		10	鳥取高等小学校の設立
		11	県庁、鳥取東町の新庁舎に移転
		-	県下初の工場制製糸場設立(八頭郡若桜村上原製糸場)
明治19年	1886	8	因伯馬車会社の開業(鳥取－倉吉間に乗合馬車営業)
		8	県立鳥取中学校を鳥取県尋常中学校とし、米子中学校を廃止
		9	日野川を中心に西部に水害
		-	コレラ流行(特に西部に死者多数)
明治20年	1887	6	日野郡二部に福岡山鉄鉱所設立
		9	鳥取、島根両県会議員、陰陽連絡鉄道敷設要求運動の方針を決定
明治21年	1888	11	鳥取婦人会(同年1月に結成)が私立鳥取女学校を創立
明治22年	1889	10	市制、町村制の施行(1,252町村が1市4町233村となる)
		10	鳥取市初代市長に岡崎平内
明治23年	1890	7	第1回衆議院議員選挙で岡崎平内、山瀬幸人、松南宏雅が当選
		8	会見・汗入・日野3郡の有志者、会見県設置要求の運動を起こす
明治24年	1891	12	淀江大火(約2,600戸焼失)
明治25年	1892	2	『因伯時報』の創刊
		11	県立物産陳列場の設置
明治26年	1893	10	天神川水系を中心に水害(明治年間で最大の被害)
明治27年	1894	2	26年水害復旧工事のための臨時県会
明治28年	1895	9	久米・河村郡長の排斥運動起こる

年代	西暦	月	国内
明治17年	1884	10	自由党解党
明治18年	1885	12	内閣制度の確立、第1次伊藤内閣成立
明治19年	1886	4	学校令公布、義務教育制が確立
		7	地方官官制公布（府知事、県令を、知事に統一）
明治21年	1888	4	市制・町村制公布
明治22年	1889	2	大日本帝国憲法発布
明治23年	1890	5	府県制・郡制公布
		7	第1回衆議院議員総選挙
		11	第1回帝国議会開かれる
明治27年	1894	8	清国に宣戦布告（日清戦争）
明治28年	1895	4	日清講和条約調印

年代	西暦	月	県内
明治29年	1896	4	郡の統廃合を行う(従来の14郡を岩美・八頭・気高・東伯・西伯・日野の6郡とする)
		10	境港、全国貿易港に指定
		12	歩兵第四十連隊の設置決まる
明治30年	1897	4	本県でも府県制が実施される
		4	私立鳥取女学校を鳥取市立高等女学校とする
		4	岩美郡農事試験場の設立(気高郡・西伯郡:明治31年、八頭・日野郡:明治32年)
明治31年	1898	4	県会議事堂の落成
明治32年	1899	4	米子に県立第二中学校開設(鳥取中学は県立第一中学校と改称)
		12	県会、知事在任期間延長の政府陳情を決議
明治33年	1900	4	古田貞、裁縫塾を開く(38年に私立鳥取裁縫女学校【現在の鳥取敬愛高等学校】開校)
		5	山陰線鉄道西線、境を基点として着工
明治34年	1901	3	愛国婦人会鳥取県支部の結成
		4	鳥取市立高等女学校を県立高等女学校とする
明治35年	1902	4	県立農事試験場を美保村に設立
		10	遠藤董、鳥取文庫を開設(県下初の図書館)
		11	境―御来屋間に鉄道開通
明治37年	1904	5	四十連隊、日露戦争に出動。遼陽、沙河、奉天等の戦闘に参加
		-	松保村の北脇永治、二十世紀梨の栽培に着手
明治38年	1905	5	境―青谷間まで山陰線開通
明治39年	1906	4	私立米子女学校(後の鳥取県立米子高等女学校)開校
		12	私立育英黌(後に育英中学)開校
明治40年	1907	4	境―鳥取間まで鉄道開通
		5	東宮(後の大正天皇)行啓
		5	鳥取市に電灯がつく(米子は42年、倉吉は44年)

年代	西暦	月	国内
明治31年	1898	6	自由、進歩両党合同し、憲政党を結成
明治32年	1899	2	中学校令改正、実業学校令、高等女学校令の公布
明治33年	1900	5	北清事変に日本軍出動
		9	伊藤博文ら立憲政友会を結成
明治34年	1901	2	八幡製鉄所が操業開始
明治35年	1902	1	日英同盟協約調印
明治37年	1904	2	日露戦争始まる
		8	日韓協約調印
明治38年	1905	9	日露講和条約調印
		11	第2次日韓協約調印
明治40年	1907	7	第3次日韓協約調印

年代	西暦	月	県内
		11	『米城新報』創刊(翌年、『山陰日日新聞』に)
明治41年	1908	9	鳥取市内に電話開通
		11	山陰線米子－松江間開通
明治42年	1909	4	県立第一中学校、第二中学校を県立鳥取中学校、米子中学校と改称
		4	県立倉吉中学校の開設
		4	西伯郡立米子高等女学校を県立に移管
明治43年	1910	7	韓国皇太子が来県
		7	遠藤董、私立鳥取盲啞学校を創設
明治45年	1912	3	山陰線(京都－出雲今市間)開通
		6	倉吉線上井－倉吉間開通
		－	米子－法勝寺でバス運行開始
大正元年	1912		
		9	千代川水系を中心に東部に大水害
大正2年	1913	8	立憲政友会県支部の結成
大正3年	1914	12	県会、鳥取・島根両県合併に関する建議
大正4年	1915	6	鳥取市に上水道完成
		8	立憲同志会鳥取県支部の結成
大正6年	1917	8	米子の山陰自動車、バス営業を開始
大正7年	1918	8	弓浜一带に小作争議起こる
		9	鳥取市大洪水、美歎水源地決壊
大正8年	1919	8	伯備線伯耆大山－伯耆溝口間開通
		12	因美軽便線鳥取－用瀬間開通
大正9年	1920	2	県連合婦人会の結成
		10	第1回国勢調査で県人口454,675人
		10	第1回鳥取県町村長会の開催
大正10年	1921	4	千代川改修期成同盟会の結成
		4	鳥取高等農学校の開設
		4	倉吉実科高等女学校を県立倉吉高等女学校とする

年代	西暦	月	国内
明治43年	1910	8	韓国併合条約調印
大正元年	1912	7	【7月30日 大正と改元】
		12	第1次護憲運動起こる
大正3年	1914	8	ドイツに宣戦布告、第1次世界大戦に参戦
大正4年	1915	1	中国に21か条要求
大正7年	1918	8	シベリア出兵
		8	米騒動起こる
大正8年	1919	6	ベルサイユ講和条約調印
大正9年	1920	5	最初のメーデー
		10	第1回国勢調査実施
大正10年	1921	4	市制、町村制の改正公布
		4	郡制廃止法公布

年代	西暦	月	県内
		10	日野郡根雨の鉄山師近藤家が鉄山を閉山
大正11年	1922	5	大旱魃
大正12年	1923	4	県立鳥取第二中学校・県立工業学校(米子)の開設
		6	因美線鳥取－智頭間開通
		7	県下最初の水平社支部の結成(智頭町)
		11	融和団体一心会の結成
		－	千代川改修工事着工
大正13年	1924	8	米子－法勝寺間の電鉄開通(昭和41年廃線)
大正14年	1925	1	日野郡全郡にわたり小作争議
		12	県会、政友会と憲政会の対立により大混乱(吉岡ホテル事件)
大正15年	1926	4	県立八頭高等女学校の開設
		7	県下6郡役所の廃止
昭和元年	1926		
昭和2年	1927	4	米子市制実施
		9	普通選挙による初の県議選挙
昭和3年	1928	4	県立米子商蚕学校・米子市立淑徳女学校開設
		10	伯備線全線開通(伯耆大山－倉敷間)
昭和5年	1930	7	日ノ丸自動車株式会社設立
		10	境港竣工
		12	若桜線全通
昭和6年	1931	7	県立鳥取図書館開館
昭和7年	1932	7	因美線全通(鳥取－津山間)
		10	小作争議箕蚊屋事件、米子署を襲撃
昭和8年	1933	2	山陰本線全通(京都－下関間)
		7	大日本国防婦人会県支部結成
昭和9年	1934	6	岩井大火
		9	室戸台風による水害

年代	西暦	月	国内
大正11年	1922	2	海軍軍備制限条約の調印
		3	全国水平社の結成
大正12年	1923	9	関東大震災
大正14年	1925	4	治安維持法公布
		5	衆議院議員選挙法改正公布(普選法)
昭和元年	1926	12	【12月25日 昭和と改元】
昭和2年	1927	3	金融恐慌が始まる
昭和3年	1928	2	普通選挙による最初の衆議院選挙
昭和5年	1930	1	世界恐慌が日本に波及
昭和6年	1931	9	満州事変勃発
昭和7年	1932	3	満州国建国宣言
		5	5.15事件
昭和8年	1933	3	国際連盟脱退

年代	西暦	月	県内
昭和10年	1935	1	境町大火(419戸全焼)
昭和11年	1936	2	大山国立公園指定
		12	鳥取放送局開局
昭和12年	1937	7	米子三柳飛行場完成
		9	国民精神総動員実施要綱を定める
		10	鳥取駅前に丸由百貨店開業
昭和13年	1938	1	東伯郡竹田村、満州国に分村
昭和14年	1939	9	県立鳥取工業学校開設
		10	海軍航空隊美保基地建設開始
		10	『鳥取新報』、『因伯時報』、『山陰日日新聞』合併、『山陰同盟日本海新聞』となる
		10	空路米子－大阪間開設
昭和15年	1940	4	県立境中学校開設
		7	満蒙開拓青少年義勇軍出発
		12	大政翼賛会鳥取県支部結成
昭和16年	1941	5	倉吉線倉吉－関金間開通
		12	知事、太平洋戦争勃発に際し告諭を出す
昭和17年	1942	7	地方事務所設置
昭和18年	1943	9	鳥取大地震(死者1,210人)
昭和19年	1944	4	米子医学専門学校の開設
		6	中学校以上の学徒の通年動員開始
昭和20年	1945	4	軍用船玉栄丸爆発事故(死者40人、焼失民家360戸)
		7	美保、米子、大山口、岩美等で米軍機の銃撃
		10	連合軍、鳥取に進駐
昭和21年	1946	4	県下初の女性代議士誕生(田中たつ)
		5	戦後初のメーデー
		8	鳥取県農民総同盟結成
		12	市町村農地委員選挙

年代	西暦	月	国内
昭和11年	1936	2	2.26事件
昭和12年	1937	7	蘆溝橋事件(日華事変勃発)
昭和13年	1938	4	国家総動員法公布
昭和14年	1939	5	ノモンハン事件
		9	第2次世界大戦勃発
昭和15年	1940	9	日独伊三国同盟成立
昭和16年	1941	4	国民学校令施行
		12	真珠湾攻撃(太平洋戦争勃発)
昭和18年	1943	12	学徒出陣始まる
昭和20年	1945	8	戦争終結の詔書放送
		8	連合軍総司令部(GHQ)の設置
		12	労働組合法公布
		12	農地調整法の改正
昭和21年	1946	2	新円に切替え
		4	戦後初の衆議院議員選挙(婦人参政権実現)
		10	自作農創設特別措置法公布
		11	日本国憲法公布

年代	西暦	月	県内
昭和22年	1947	2	部落解放委員会鳥取県連合会結成
		3	第2次農地改革始まる
		4	第1回統一地方選挙、初の知事・市町村長公選
		4	県会議員選挙で女性議員誕生(田中花子)
		4	2市20町148村
		5	新制度下第1回県会開会
		11	天皇行幸
昭和23年	1948	3	自治体警察発足
		4	日本農民組合鳥取県連合会結成
		5	サマータイム実施(27年廃止)
昭和24年	1949	2	県復興宝くじ発行
		2	県立中央病院開設
		5	県連合婦人会結成
		5	鳥取大学発足
昭和25年	1950	4	県産業観光米子大博覧会の開催
		8	米子鉄道管理局開設
		10	国勢調査、県人口60万人突破
昭和26年	1951	1	県社会福祉協議会結成
		6	第1次公職追放解除、県内950人
		7	県労働組合協議会結成
		11	東京一大社間の急行運転開始(12月:「いずも」の名称となる)
昭和27年	1952	4	鳥取大火(焼失家屋5,228戸)
		7	町村合併に関する知事勧告
		7	2市25町141村
昭和28年	1953	9	合併促進法施行前の9月末で、市町村数は2市28町105村となる
		10	倉吉市制施行
		12	3市27町90村となる
昭和29年	1954	3	ラジオ山陰放送開始

年代	西暦	月	国内
昭和22年	1947	4	6・3制教育、新制中学校発足
		5	日本国憲法、地方自治法施行
		11	農業協同組合法公布
昭和23年	1948	4	新制高校発足
		11	極東軍事裁判判決
昭和24年	1949	4	単一為替レート設定(1ドル360円)
		7	GHQレッドパージ声明
		8	シャウプ税制勧告
昭和25年	1950	6	朝鮮戦争始まる
		6	特需景気起こる
昭和26年	1951	9	対日平和条約、日米安全保障条約調印
昭和27年	1952	5	メーデー事件
昭和28年	1953	2	NHKテレビ放送開始
		10	町村合併促進法施行
昭和29年	1954	7	防衛庁、自衛隊発足

年代	西暦	月	県内
	1954	7	鳥取県警察発足
		9	3市25町57村
		11	極東航空、米子－大阪間に就航
		11	鳥取砂丘、天然記念物に指定
昭和30年	1955	4	小鴨鉱山でウラン鉱床発見
		6	山陰海岸、国定公園に指定
		8	国道29号線戸倉トンネル開通
		11	人形峠でウラン鉱発見
		12	3市30町21村
昭和31年	1956	4	境港市制施行
		5	地方事務所廃止
		8	智頭農林高、高校総体男子団体徒手(新体操)で初優勝
		10	新市町村建設促進法施行(10月)時で、4市30町19村となる
昭和33年	1958	12	4市33町11村
昭和34年	1959	3	日本海テレビ開局、NHK鳥取もテレビ放送開始
		9	伊勢湾台風により甚大な被害、5市町村に災害救助法適用
		-	11町村が合併し、合併は一段落 4市32町5村となる
昭和35年	1960	4	選抜高校野球大会で米子東高校が準優勝
		10	国勢調査で県人口60万人を割る
昭和36年	1961	9	第2室戸台風による水害
		10	鳥取西高、国体女子団体徒手(新体操)で初優勝
昭和37年	1962	8	新県庁舎落成
昭和38年	1963	1	豪雪(境港の積雪91cm)
		7	山陰海岸国立公園に昇格
		12	県立厚生病院(倉吉市)完成
昭和39年	1964	4	米子工業高等専門学校開校
		11	中海干拓について鳥取・島根両県の協定成立
昭和40年	1965	5	植樹祭に天皇皇后行幸啓

年代	西暦	月	国内
昭和30年	1955	8	第1回原水爆禁止世界大会
		11	自由民主党結成(保守合同)
昭和31年	1956	6	新市町村建設促進法公布
		12	国際連合加盟
昭和35年	1960	6	新日米安全保障条約発効
		12	高度成長、国民所得倍増政策を発表
昭和36年	1961	6	農業基本法公布
昭和39年	1964	10	東海道新幹線開業
		10	東京オリンピック開催
昭和40年	1965	6	日韓基本条約調印

年代	西暦	月	県内
昭和41年	1966	8	境港1万トン岸壁完成
		10	県営有料道路大山環状線が開通
		4	県水産試験船「第一鳥取丸」完成
		7	鳥取県総合開発計画策定
		9	鳥取大学、鳥取市湖山に統合移転
		11	中海地区、新産業都市に指定
昭和42年	1967	6	県立農業経営大学校開校
		8	県営鳥取空港開港
昭和43年	1968	4	伯仙町が米子市に合併、市町村数は4市31町4村となる
		10	明治100年、記念式典挙行、県章、県旗、県歌制定
		11	県内の国道9号線が開通
昭和45年	1970	4	中海干拓事業起工式
		7	県公害防止条例施行
昭和46年	1971	4	鳥取女子短期大学開校
		6	老人医療費の無料化決定
		6	過疎バス対策会議開催
昭和47年	1972	2	大山国体開催
		7	境水道大橋開通
		10	県立博物館開館
昭和48年	1973	5	鳥取砂丘こどもの国オープン
昭和49年	1974	1	物価高騰で生活安定緊急対策本部を設置
		-	県下の企業で倒産、解雇相次ぐ
昭和50年	1975	5	県立中央病院新築移転
		6	県庁第二庁舎完成
昭和51年	1976	5	日本海新聞再刊
昭和52年	1977	2	豪雪(鳥取市で105cm)
		-	米の生産調整強化

年代	西暦	月	国内
昭和42年	1967	8	公害対策基本法公布
昭和45年	1970	3	大阪で万国博覧会開催
昭和46年	1971	8	米ニクソン大統領によるドルと金の交換停止措置(ニクソンショック)
昭和47年	1972	2	札幌冬季オリンピック
		9	日中国交正常化
昭和48年	1973	2	円変動相場制へ移行
		10	第1次オイルショック
昭和50年	1975	3	新幹線東京－博多間全通
昭和51年	1976	7	ロッキード事件
昭和52年	1977	7	領海12カイリ、漁業専管水域200カイリ実施

年代	西暦	月	県内
		-	円高不況が深刻に
昭和53年	1978	7	国府町梶山古墳で彩色壁画発見
		11	鳥取駅高架完成
昭和54年	1979	8	鳥取－東京間直行便就航
		8	由良育英高、高校総体陸上男子で総合優勝
		10	台風20号襲来、被害額は185億円と史上最高
昭和55年	1980	2	松くい虫対策本部を設置
		6	県消費者保護条例施行
		10	県人口60万人に回復
昭和56年	1981	8	鳥取、島根両県の中海県境問題が決着
		9	県政100年、記念式典挙行
		11	人形トンネル開通
		11	鳥取駅前土地区画整理事業完成
		12	志戸坂トンネル開通
		12	米子－東京間にジェット機就航
昭和57年	1982	7	伯備線電化
昭和58年	1983	6	米子駅前通り土地区画整理事業完成
		10	震度4の地震、県中部を中心に被害
		12	豪雪（昭和59年3月にかけて）
昭和59年	1984	6	境港に4万トン岸壁完成
		8	県立布勢総合運動公園完成
		9	二十世紀梨、アメリカへ初輸出
昭和60年	1985	3	倉吉線廃止
		9	わかとり国体開催（～10月）
昭和61年	1986	5	智頭鉄道株式会社が設立
		6	中国河北省と友好県省提携に調印
		8	山陰路観光キャンペーンスタート
昭和62年	1987	2	智頭鉄道建設工事再開
		8	第3セクター若桜鉄道発足（10月14日営業開始）

年代	西暦	月	国内
昭和53年	1978	5	成田空港開港
昭和54年	1979	1	国公立大学の共通一次試験スタート
		6	東京サミット開催
昭和55年	1980	-	この年、冷害で凶作
昭和56年	1981	3	臨時行政調査会初会合
昭和57年	1982	6	東北新幹線大宮－盛岡間開通
昭和58年	1983	6	比例代表制を導入した参議院選挙
昭和60年	1985	4	NTT、日本たばこ開業
		8	日航ジャンボ機が群馬県御巢鷹山に墜落
昭和61年	1986	4	男女雇用機会均等法施行
昭和62年	1987	4	国鉄分割民営化

年代	西暦	月	県内
昭和63年	1988	5	鳥取・米子－東京間に高速バス運行
		7	農林水産省、中海宍道湖淡水化事業の延期を決定
		10	県情報公開制度スタート
昭和64年	1989		
平成元年	1989	7	世界おもちゃ博開催
		12	米子自動車道(米子－江府間)開通
平成2年	1990	10	新県立図書館オープン
		10	公文書館オープン
平成3年	1991	5	上淀廃寺跡から国内最古級の彩色壁画出土
		8	全国童謡・唱歌サミット開催
平成4年	1992	3	鳥取県全県公園化構想を策定
		5	中海の鳥取・島根県境決定
		7	バルセロナオリンピックで鳥取県の森下、山下、西本の3選手大活躍(～8月)
		12	米子自動車道全線開通
		-	境港水揚げ日本一に
平成5年	1993	2	大山で冬季国体スキー競技会開催
		8	倉吉フルーツ博(農業博)開催
		10	県民文化会館オープン
平成6年	1994	7	境港市に水木しげるロード完成
		9	中国吉林省と友好交流に関する覚書調印
		11	韓国江原道と友好提携
		11	韓国江原道で環日本海圏4カ国地方政府サミット開催
		12	智頭急行開業
平成7年	1995	3	境港FAZ(輸入促進地域)計画が承認
		5	境港－中国大連間に定期航路開設
		7	わらべ館オープン
		7	中国庭園開園

年代	西暦	月	国内
昭和63年	1988	3	青函トンネル、鉄道開通
		4	瀬戸大橋開通
		11	「ふるさと創生」で1億円交付の方針決定
		12	消費税導入の税制改革法の成立
昭和64年	1989		
平成元年	1989	1	【1月7日 平成と改元】
		4	消費税スタート
平成2年	1990	12	ソ連の宇宙船で日本人初の宇宙旅行
平成4年	1992	6	PKO(国連平和維持活動)協力法案成立
平成5年	1993	7	北海道南西沖地震で大津波、死者・行方不明者230人
平成6年	1994	3	米不足で輸入米の本格販売始まる
		9	各地で猛暑、水不足深刻化
平成7年	1995	1	阪神大震災 死者6,434人
		11	新食糧法スタート 53年続いた食糧管理法廃止に
		11	大阪APEC開催

年代	西暦	月	県内
		8	鳥取インターハイ開催
		8	境港－韓国釜山間に定期航路開設
		11	岸本町で第2回環日本海圏 地方政府サミット開催
平成8年	1996	6	韓国江原道との間で「交流協 力関係発展に関する協定 書」に調印
		8	「鳥取県人権尊重の社会づく り条例」施行
		4	米子－札幌間に航空便が就 航
平成9年	1997	5	地方自治法施行50周年記念 式典を開催
		7	山陰・夢みなと博覧会開催 (～9月)
		10	国道313号犬伏道路が開通
平成10年	1998	4	米子コンベンションセンター 「ビッグシップ」がオープン
		8	第22回全国高等学校総合文 化祭を開催
		9	「とっとり県民の日」制定
平成11年	1999	4	鳥取県大連事務所を開設
		4	わが国最大の弥生時代の集 落跡「妻木晩田遺跡」の全面 保存決定
		4	「とっとり花回廊」開園
		7	県民の声を広く聴く総合窓口 「県民室」を新設
		12	妻木晩田遺跡国史跡に指定
平成12年	2000	7	青谷上地寺遺跡で人骨等出 土
		10	「鳥取県西部地震」発生
		11	米子市で第7回環日本海圏 地方政府国際交流・協力サ ミット開催
		12	「男女共同参画推進条例」を 制定
平成13年	2001	2	米子震災フォーラム開催
		4	山陰初の国際定期便「米子 －ソウル便」就航
		4	鳥取環境大学開学
		4	倉吉未来中心、鳥取二十世 紀梨記念館オープン
		4	青谷上寺地遺跡で弥生時代 の人骨から脳発見
平成14年	2002	4	「鳥取県立人権ひろば21(ふ らっと)」開所

年代	西暦	月	国内
平成8年	1996	7	Ｏ－157による食中毒発生
		7	住専処理法成立、住宅金融債権管理機構発足
平成9年	1997	1	隠岐島沖でロシアタンカー重油流出事故
		11	北海道拓殖銀行、山一証券破綻
平成10年	1998	2	長野冬季オリンピック開催
		6	金融システム改革法成立（日本版ビッグバンスタート）
平成11年	1999	6	男女共同参画社会基本法成立
		7	中央省庁等改革関連法、地方分権一括法成立
平成12年	2000	6	雪印乳業の食中毒事件
		7	沖縄サミット開催
		9	三宅島噴火で全島民避難
		9	シドニーオリンピック女子マラソンで高橋尚子が日本女子陸上初の金メダル
平成13年	2001	11	テロ対策特別措置法公布
平成14年	2002	5	サッカーワールドカップ日韓共催（～6月）

年代	西暦	月	県内
		10	第17回国民文化祭「夢フェスタとっとり」開催
平成15年	2003	2	住民参加型ミニ市場公募債「とっとり県民債」発行
		3	山陰道青谷・羽合道路開通
平成15年	2003	4	「産業廃棄物処分場税」スタート
		5	大山町で全国野鳥保護のつどい開催
		10	ジャパンフラワーフェスティバル2003inとっとり花回廊開催
平成16年	2004	2	鳥取県警察本部新庁舎完成
		4	二十世紀梨導入100周年記念「二十世紀梨親木感謝祭」開催
		9	平成の市町村合併始まる
		10	江島大橋開通
平成17年	2005	9	鳥取県名古屋事務所を開設
		10	第17回全国生涯学習フェスティバル・まなびピア鳥取2005開催
		10	市町村合併により県内19市町村に再編
		11	中海がラムサール条約登録湿地に
平成18年	2006	10	第19回全国スポーツ・レクリエーション祭 スポレク鳥取2006開催
平成19年	2007	4	統一地方選挙鳥取県知事・県議会議員選挙実施
		10	和牛博覧会inとっとり～第9回全国和牛能力共進会開催(大山町)
		-	県の推計人口が、29年ぶりに60万人を割る
平成20年	2008	3	青谷上寺地遺跡・若桜鬼ヶ城跡が国指定史跡に
		6	ブラジル日本移民100周年、開拓地・第二アリアンサ鳥取村日本学校で特別授業を実施
		12	「鳥取県の将来ビジョン」策定
平成21年	2009	3	鳥取自動車道 智頭IC～河原IC間が開通
		6	環日本海国際定期貨客船航路が正式に就航
		10	「日本のまつり・2009鳥取」開催

年代	西暦	月	国内
		9	日朝首脳会談
平成15年	2003	6	有事関連法成立
		7	イラク復興支援特別措置法成立
平成16年	2004	1	鳥インフルエンザ発生
		2	イラク自衛隊派遣
		10	新潟県中越地震 死者68人
平成17年	2005	3	愛・地球博(愛知万博)開催(～9月)
		4	尼崎JR脱線事故で107人死亡
		10	郵政民営化関連法成立
平成18年	2006	2	トリノ冬季オリンピック女子フィギュアで荒川静香が金メダル
		12	改正教育基本法成立
平成19年	2007	1	防衛省が発足
		6	島根県石見銀山が世界文化遺産に登録
		10	郵政民営化スタート
平成20年	2008	1	中国製冷凍ギョーザ事件
		7	北海道洞爺湖サミット開催
		8	北京オリンピック開催
		10	ノーベル賞、日本人4名受賞
平成21年	2009	5	新型インフルエンザ流行
		5	裁判員制度スタート
		8	民主党圧勝により政権交代実現

年代	西暦	月	県内
平成22年	2010	3	鳥取自動車道(鳥取県内全線)が開通
		10	山陰海岸ジオパークが「世界ジオパークネットワーク」に加盟認定
		10	水木しげるロードへの観光客数が300万人を突破
		12	関西広域連合が設立(鳥取県も参加)
		12	鳥取県西部を中心に記録的な豪雪(米子市 89cm 境港市 72cm)
平成23年	2011	2	東伯中山道路開通
		10	第31回全国豊かな海づくり大会開催
		11	事業開始から半世紀、鳥取市国府町の殿ダムが完成
平成24年	2012	4	鳥取環境大学が公立化
		7	ロンドンオリンピック、琴浦町出身の川中選手がアーチェリーで銅メダル獲得(～8月)
		8	まんが王国とっとり建国記念「国際まんが博」開催
		11	第21回世界空手道選手権大会で宇佐美選手が優勝
平成25年	2013	5	第64回全国植樹祭が開催
		9	第30回全国都市緑化とっとりフェア開催
		10	「鳥取県手話言語条例」制定
		12	米子鬼太郎空港にスカイマークが新規就航(成田・神戸・茨城線)→2015年8月に全便運休
平成26年	2014	3	山陰近畿自動車道駈馳山バイパスの開通
		3	国営中海土地改良事業の完了
		7	「全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会(あいサポート・アートとっとりフェスタ)」開催(～11月)
		9	共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」オープン
平成27年	2015	4	三徳山と三朝温泉が日本遺産に認定
		8	参議院選挙制度の改正で、鳥取・島根県の選挙区を合区に設定
		11	漫画家 水木しげる氏死去

年代	西暦	月	国内
平成22年	2010	6	小惑星探査機「はやぶさ」帰還
		6	子ども手当支給開始
		10	ノーベル化学賞に根岸氏・鈴木氏
平成23年	2011	3	東日本大震災発生。福島第一原発事故で深刻な被害
		6	小笠原諸島（東京都）と平泉（岩手県）が世界遺産に
		7	日本女子サッカーがワールドカップで初優勝
		7	テレビ放送が地上デジタルに移行
平成24年	2012	5	金環日食が932年ぶりに広範囲で観測
		10	iPS細胞の山中伸弥氏にノーベル生理学・医学賞
		12	衆院選、自民・公明党が政権奪還
平成25年	2013	6	富士山が世界文化遺産に決定
		9	2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定
		10	伊豆大島土石流災害で死者36人
平成26年	2014	4	消費税8%スタート
		8	広島市北部の土砂災害で死者77人
		9	御嶽山噴火で死者58人、行方不明者5人
平成27年	2015	3	北陸新幹線が開業
		9	安全保障関連法が成立
		10	マイナンバー制度関係法令が施行（平成28年1月からマイナンバー利用開始）

年代	西暦	月	県内
平成28年	2016	3	ジャマイカ・ウェストモアランド県と姉妹提携を締結
		9	青谷横木遺跡の出土品の板絵が、飛鳥時代の「女子群像」であることを発見
		9	新たな国際定期便(米子-香港便)が就航
		10	「鳥取県中部地震」発生
平成29年	2017	1	智頭町で1日あたりの積雪量70cmを観測。鳥取市の積雪量90cm超は33年ぶり
		4	文書の保有主体の責務・役割や連携を定めた全国初の「歴史公文書等保存条例」施行
		6	「トワイライトエクスプレス瑞風」運行開始
		9	「あいサポート条例」施行
平成30年	2018	4	「鳥取県星空保全条例」施行
		5	大山開山1300年祭
		9	台風24号による大雨被害
		12	「県立中央病院」新病院オープン
平成31年	2019		
令和元年	2019	5	山陰道鳥取西道路開通
		10	米子ソウル便が運行停止に
		12	初セリ500万円の「五輝星」がギネス世界記録を更新
令和2年	2020	1	県立美術館PFI事業者決定
		1	県産和子牛のセリ市場価格が年間日本一に
		6	「鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進本部」を設置
		8	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例の制定
令和3年	2021	4	新型コロナウイルス感染症対策本部事務局が発足
		8	東京2020オリンピックで入江聖奈選手が金メダル

年代	西暦	月	国内
平成28年	2016	10	ノーベル生理学・医学賞に大村氏、物理学賞に梶田氏
		3	北海道新幹線が開業(新青森-新函館北斗)
		4	熊本地震で死者50人
		6	18歳選挙権施行
		8	リオオリンピック開催(日本は史上最多メダル41個を獲得)
平成29年	2017	10	ノーベル生理学・医学賞に大隅氏
		6	天皇の退位等に関する皇室典範特例法が成立
		6	14歳棋士、藤井聡太4段が29連勝の新記録を達成
		10	衆院選で自由民主党圧勝。民進党が分裂
		-	森友学園問題、加計学園問題が起きる
平成30年	2018	2	平昌オリンピック開催(日本は冬季最多13メダルを獲得)
		7	西日本豪雨、死者263人
		9	北海道で震度7、道内全域で停電
		10	ノーベル生理学・医学賞に本庶氏
平成31年	2019		
令和元年	2019	5	天皇陛下が即位。「令和」に改元
		10	消費税10%スタート
		10	東日本で台風大雨被害、死者118人
		10	ノーベル化学賞に吉野彰氏
令和2年	2020	4	新型コロナウイルス感染拡大により全国に緊急事態宣言
		7	東京オリンピック・パラリンピック、1年延期
		8	高校野球(甲子園)が春夏中止
		9	歴代最長の安倍政権が終わり、菅首相誕生
令和3年	2021	2	新型コロナワクチン接種開始
		7	静岡県熱海市で土石流、死者・行方不明者27人

年代	西暦	月	県内
		9	平井伸治知事が全国知事会長に就任
令和4年	2022	5	「青谷弥生人」そっくりさんグランプリ決定
		8	世界水泳で飛込の三上紗也可選手が銀メダル
		9	倉吉東高等学校国際バカロレア ディプロマ・プログラム認定
		11	県内初 養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生
令和5年	2023	3	山陰近畿自動車道の浦富―東浜間の開通により「岩美道路」が全線開通
		8	台風第7号による大雨被害
		10	米子ソウル便の運航再開
令和6年	2024	3	「青谷かみじち史跡公園」開園
		4	中国地方初の県立夜間中学「県立まなびの森学園」開校
		10	石破茂内閣総理大臣誕生
		10	「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の開催

年代	西暦	月	国内
令和4年	2022	7	東京2020オリンピック、原則無観客で開催、日本は史上最多58メダルを獲得
		11	大谷翔平、メジャーリーグMVP獲得が話題に
		2	北京オリンピックで日本勢が冬季最多の18メダルを獲得
		7	安倍晋三元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
		10	32年ぶりの円安、1ドル＝150円を突破
令和5年	2023	5	新型コロナが「2類」から「5類」へ移行
		8	福島第一原発の処理水放出を開始
		9	記録的猛暑で夏の平均気温が過去最高に
		12	自民党派閥の政治資金パーティーを巡る裏金疑惑が岸田政権を直撃
令和6年	2024	1	能登半島地震
		7	日本銀行が20年ぶりに新紙幣を発行
		8	パリオリンピック開催（日本は海外最多メダル45個獲得）
		10	日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞
		11	令和の米騒動

(令和7年12月 鳥取県立公文書館 作成)

鳥取県知事一覧

職名	氏名	就任			職名	氏名	就任		
		年代	西暦	月			年代	西暦	月
藩知事	池田 慶徳	明治2年	1869	6	知事	石井 保	大正15年	1926	9
権令	河田 景与	明治4年	1871	11	知事	藤岡 兵一	昭和2年	1927	5
権参事のち参事	関 義臣	明治5年	1872	7	知事	久保 豊四郎	昭和3年	1928	5
参事のち県令	三吉 周亮	明治6年	1873	5	知事	神田 純一	昭和5年	1930	8
参事	伊集院 兼善	明治8年	1875	7	知事	館 哲二	昭和6年	1931	12
島根県令	佐藤 信寛	明治9年	1876	5	知事	中谷 秀	昭和9年	1934	4
島根県令	境 二郎	明治10年	1877	8	知事	立田 清辰	昭和11年	1936	4
県令のち知事	山田 信道	明治14年	1881	9	知事	副見 喬雄	昭和14年	1939	1
知事	武井 守正	明治21年	1888	10	知事	八田 三郎	昭和15年	1940	12
知事	西村 亮吉	明治24年	1891	4	知事	土肥 米之	昭和17年	1942	1
知事	調所 広丈	明治25年	1892	7	知事	武島 一義	昭和18年	1943	7
知事	野村 政明	明治27年	1894	9	知事	高橋 庸弥	昭和20年	1945	4
知事	深野 一三	明治29年	1896	4	知事	林 敬三	昭和20年	1945	10
知事	荒川 義太郎	明治30年	1897	11	知事	吉田 忠一	昭和22年	1947	2
知事	久保田 貫一	明治32年	1899	5	知事	西尾 愛治	昭和22年	1947	4
知事	大久保 利武	明治33年	1900	1	知事	遠藤 茂	昭和29年	1954	12
知事	香川 輝	明治33年	1900	4	知事	石破 二郎	昭和33年	1958	12
知事	寺田 祐之	明治34年	1901	4	知事	平林 鴻三	昭和49年	1974	3
知事	山田 新一郎	明治39年	1906	7	知事	西尾 邑次	昭和58年	1983	4
知事	告森 良	明治41年	1908	3	知事	片山 善博	平成11年	1999	4
知事	岡 喜七郎	明治43年	1910	6	現知事	平井 伸治	平成19年	2007	4
知事	川島 純幹	大正2年	1913	2					
知事	三松 武夫	大正3年	1914	6					
知事	佐竹 義文	大正6年	1917	1					
知事	阿部 壽準	大正8年	1919	4					
知事	岩田 衛	大正9年	1920	9					
知事	日々 重雅	大正11年	1922	10					
知事	木下 信	大正13年	1924	6					
知事	白上 佑吉	大正13年	1924	10					